

BU バグ 60号

〒 601-8036 京都市南区東九条松田町 62
NPO 法人日本自立生活センター「ワークス共同作業所」
TEL (075) 682-3201・FAX (075) 682-3330
<http://www.mediawars.ne.jp/~saba>
Eメール: saba@mediawars.ne.jp
2012年7月20日第1刷第60号
編集責任者大崎雅彦

急 告

関係各位

「既成概念の変革」「主体性の確立」などを障害者運動の基本として長年訴えてこられた《車いすと仲間の会》《日本自立生活センター》代表の長橋榮一氏（享年81歳）が7月4日午前0時半、急性心不全により逝去されました。同氏は、当所法人理事長としても、ワークス共同作業所を設立し、今日に至るまでかげになり日向になり支えて下さいました。

ご自身が築かれた自立への道を後進が続いて進むのを見届けられるかのように6月26日の総会にご出席されていた矢先の事でした。

ここに謹んでお知らせを申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈りいたします。

お通夜、告別式ともに、ご家族様のご意思により、ご親族様だけのお見送りとし、弔電・献花等もご遠慮くださいとのことで、詳細のお知らせは控えさせていただきました。

日を改めて『お別れ会（仮称）』を行いたく、その節はご案内申し上げます。

ぜひご出席くださいますようよろしくお願い致します。



在りし日の長橋榮一氏

平成 24 年度 定期総会の報告

平成 24 年 4 月 25 日（水）午後 2 時 30 分から京都市地域・多文化交流ネットワークセンターにて定期総会が開催しました。

最初に、司会者から開会宣言が読み上げられ、次に所長からの平成 23 年度事業報告及び平成 23 年度決算の承認を行われました。

今年度は、新体制に移行し、ワークス共同作業所と JCIL が一体になり、大きな広い会場が人でいっぱい、身動きが取れないくらいになりました。

今回の移行にあたり人数の内訳は、就労支援（B 型）7 名・指定生活介護事業 18 名となり、新しい職員さんも増えて大世帯になりました。

次に平成 24 年度事業計画及び事業



総会の様子
（多文化ネットワークセンター）

予算の承認の報告が読み上げられ、理事及び所員一同の賛同を得て承認されて、定期総会が無事に終了しました。

次に茶話会がはじまり、皆わいわいがやがやとおしゃべりしはじめ、ジュースで乾杯。お菓子を食べながら緊張と緩和の一日が終わりました。



総会の様子
（多文化ネットワークセンター）

万福寺 塔頭 (たちゅう)

聖林院での活動について

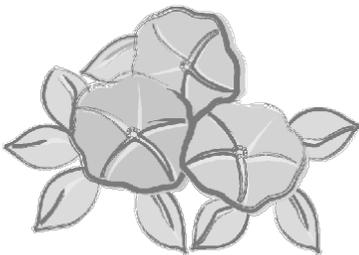
(しょうりんいん)

聖林院に行っています。
今年の4月から宇治の万福寺の塔頭
である聖林院で掃除をしたり店を出
したりしています。

聖林院は、万福寺を本尊とする小
さなお寺です。
みみづく地蔵が門前に安置され、
みんなの願い事を叶えるというお地
蔵様です。



聖林院の門前



当所では天候が良い時は、毎週火
曜日にお店を出し、清掃をしていま
す。

万福寺へお参りに来られた方が、
売り物を買って下さることも多く、
門前は車の通りもありにぎやかで
す。

市内の活気と比べて、静かな場所
で日頃はできないリラックスをしな
がら出店できることも魅力です。

最寄り駅は、JR奈良線の黄檗駅で
す。

毎月24日は法要をされています。

是非来てください。



聖林院での活動の様子
(出店をして物品販売)

第1回 和知の市に参加して

6月23日と24日の両日に京丹波町の「むらいちば和知」で行われた『第一回和知の市』に参加して来ました。

『むらいちば和知』は就労支援A型の事業所で、おそば屋さんやアイスクリーム・野菜・ケーキなどを販売しておられます。

今回は、その一角にお店を出させていただきました。カレンダーやビーズなどの自主製品等を販売しました。

その中でちょっとびっくりする出来事がありました。それは、椿森さんの『FMあやべ』への出演と、玉子の美味しさについてです。

当日、「FMあやべ」が「和知の市」について取材をされていたので、ワークスもインタビューをうけたのです。さすがは椿森さんです。しっかりワークスの名前を連呼されていました。

7月8日に放送されました。



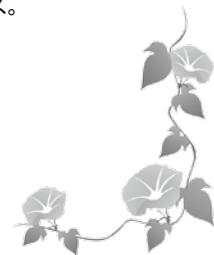
和知の市での出店の様子。
屋外でゆったりとしたブースでの販売。

もう一つは、玉子の美味しさです。「むらいちば和知」のおそば屋さんでは有精卵の赤玉の玉子かけごはんが食べられるのです。

しかし、初日には白ごはんがなくて玉子かけごはんが食べられませんでした。そのことを、次の日の朝に、おもしろ社長さんにしゃべってしまいました。すると、社長さんが「ごはんをたいてもらいます」と言われました。その玉子かけごはんは、とっても美味しかったです！



和知の市での出店の様子。
屋内での販売ブース。
笑顔で販売中



ワークス共同作業所 新人紹介



前回のバグの発行後、新しく入った一緒に働く仲間をご紹介します。
皆さま、よろしくお願ひします！

児玉 浩一 こだま こういち

松の間の整理・掃除
I Lクラブのブログ更新

ワークスに来て、いままでにない経験させてもらっています。
今後もう一生懸命やっていきたいです。

4月からワークスに来ています。まだまだ慣れてないところがありますが、がんばっていきたくたいです。これからもよろしくお願ひします。

フォトショップで画像合成をすることで。私自身も写真が好きで、写真を切り取ったり、貼り付けたりしているうちに楽しくなってきた、雑誌の表紙を作っているような気分になりました。最近では、イラストレーターで花や似顔絵を描けるようになりました。これからも、それをいかして頑張っていきたいと思ひます。

名前：嶧田大輔（えきた だいすけ）

はじめまして、嶧田大輔といひます。珍しい名前で、なかなか覚えられないと思ひます。こちらには、毎週木・金と通う形になりますけど、ワークスの皆さんとコミュニケーションをとれるように、また仕事もう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。私は6年前、交通事故に遭ひ頸椎損傷を患ひました。医者からは「歩けない」と言われましたが、それでもどうしても歩けるようになりたい思ひで、これまで毎日欠かさずリハビリを続けました。頸椎を患わってから1年程で杖をつきながらようやく歩けるようになりました。4年程前からパソコンを習ひ始めました。これまで機関誌やポスターやチラシ、アバター、書類等作ってきました。もっとも得意なのは、

「ひとりぐらしはたいへんだ。

こまったなあ。

こまったらこうする。（腕組み）

こまどりしまい

ようとまれているっていうて！」

なかむら かよ

（中村 佳代）

小松 満雄（こまつみちお）です。

パソコンの勉強しています。

パソコンの仕事したい。

遊び人ですので、

よろしくお願ひします。

とっしーの世界遺産を巡る道中記 Port3

伊藤 壽一

石見鉾山、白川郷に続いて、6月15日から平泉に2泊3日で、とっしーと行くことになった。

平泉は、岩手県の南部にあり、奥州藤原氏が勢力を張っていた所で、源義経終焉の地でもある。平安時代末期の寺院や遺跡がたくさんあり、仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群として、昨年小笠原諸島と共に世界遺産に登録されたばかりである。

過去2回は爆弾低気圧や台風にぶつかり、豪雨に見舞われた。梅雨の最中でもあり、雨は覚悟していた。当日は、曇り、天気予報では明日から雨となっていた。

8時に京都駅で待ち合わせ、新幹線で平泉へ向かった。途中東京で1時間待ち、一ノ関で乗り換え、平泉に着いたのは午後3時を過ぎていた。宿に荷物を置いて、早速近くにある毛(もう)越寺(つうじ)へ行った。平日の金曜日ということもあって、人はまばらで、ゆっくり境内の本堂や庭園を見て回ることが出来た。特に庭園は、広沢の池を模して造られたとのことで、大泉が池を中心に、

花菖蒲等が咲いていて、とてもきれいであった。その後、義経妻子の墓や、「夏草や 兵どもの 夢の後」と詠った、藤原氏の屋敷があったとされる無量光院跡などを回り、途中食事をとって宿に帰った。この宿は、今年から夕食は出していないという事だった。朝食のみであった。

2日目は、バスで、中尊寺へ向かった。バスを降りると、長い坂があっ



中 尊 寺

た。月見坂というらしい。それを上り、途中弁慶堂、薬師堂等を見て、まずは本堂へお参りした。その後金色堂へ向かった。その時、とうとう雨が降り出して来た。雨にもかかわらず、多くの団体客が来ていた。金色堂は、中尊寺の中心的存在で、昭和37年に修理されて、今は鉄筋コ

ンクリートの建物の中にある。約5m四方の金箔がはられたお堂で、阿弥陀如来を中心に様々な菩薩様が安置されている。「五月雨の降残してや光堂」と金色堂を詠った松尾芭蕉も、旧暦5月梅雨の時に、ここに来たらしい。帰りの月見坂は雨に濡れて、足を滑らしそうになった。

その後巡回バスで、義経高塚を回り、達谷の窟へ向かった。そこは窟に大きな磨岩仏が掘ってあった。骨寺村荘園遺跡に行きたかったが、バスの連絡が悪く行けなかった。

ここからは世界遺産を離れて、後半は溪谷の観光になった。まずは巖(げん)美溪(びけい)。達谷の窟からバスで5分の所にあるが、達谷で1時間半もバス待ちをした。巖美溪は、平泉から西の磐井川にあり、多くの滝がある溪谷である。着くと雨が本降りになり河原におりるのにも苦勞した。その後バスでいったん平泉の宿に戻って、宿の隣のすし屋で夕食を食べた。

3日目、雨は上がって太陽が覗い



巖 美 溪

ていた。今度は、平泉から東へバスで30分の所にある猯(げい)鼻溪(びけい)へ向かった。こちらも北上川の支流の砂鉄川にあり、着いて、川下り?を楽しんだ。いや、往復で先ずは川上り。竿一本だけで操る舟での往復は全国でここだけのこと。船頭さんの案内で、舟は緩やかな流れの中、ゆっくり進んで行く。朝日に照らされ、川霧が立ち込め、その上に100mの奇岩が聳え立つ、とても幻想的な風景であった。川の中には大きなコイ(錦鯉)が何匹も悠然と泳いでおり、川岸にはカモが飛びかっていた。藤の花の名所で、5月がよいとのこと。また秋の紅葉、冬のこたつ舟も乙なものらしい。帰りには船頭さんの名調子も聞かせてもらった。激しい流れの巖美溪とゆったりとした猯鼻溪、北上川を挟んでわずか30kmしか離れていない。名前も似ているのに対象的な溪谷であった。

その後列車で一ノ関へ戻り、新幹線で帰宅の途に就いた。途中上野の地下に入る手前で、ビルの谷間から、スカイツリーが見えた。

今度の旅は、これまでのような豪雨にはあわず、まずまずの天気であった。ちなみに帰ってきた翌朝、岩手南部で震度4の余震が起こっていたし、また台風が近づいていた。危なかった。

Port4はあるのかな。

— NAKAJIMA' S EYES —

沢山の事件を引き起こした宗教団体の最後の一人が捕まった。

私は昔、アルバイトをした金で本を買い、良く読んだ。

脛骨軟骨症で入院し、手術を受けた時も、3カ月位上を向いたままなので、本ばかり読んでいた。

その中には、宗教・科学・哲学に関する本、植物に関する本、文学・心理・歴史に関する本が沢山あった。特に、原始仏教に出てくる色々な神様の物語や教義には興味があった。

この宗教団体の教義は、この原始仏教の模倣ではないか？

何を読んでも、感銘はするが影響は受けなかった。

頭ごなしに傾倒してはいけないし、のめり込んでもいけない。

生きることの指針にするのは良いが、鵜呑みにしてはならないと思う。また人間の心理、思考は大河の水の様に時代に依って、流れを変えていく。自分自身の生き方も変えなければならぬ時もある。

私の青春時代は学生運動が華やかになりし頃だった。沢山の友が学生運動に参加して行った。

その友たちは、自分等の力で世の中を変革できると信じ、真直ぐに生きたのだろう。

「平和」で「平等」な日本を夢見て、「デモ」や「抗議」に参加し、警察に連れて行かれた若者や友。

私も参加したり、「政治を変革しようとする人達」のサークルに入ったりもした。

でもそれは理想と化してしまった。それに、政治に興味を持っていない人にまで、入会してくれとは云えなかった。そこまで考え方を押しつけたり、信念を変えさせることは出来なかった。

今の若者はそういうことはしなくなった。争うことをしない「ことなかれ主義」になってしまったのか？これでは世の中が進歩しない。

「信教」や「言論」の自由は絶対に崩してはいけないし、「暴力をふるうこと」や「戦争」も絶対にしてはならないが話し合い、協議していくのなら良いのではないか？

宗教や哲学は戦争を引き起こす元凶である。気をつけて取り扱わなければならない事柄だと思う。

未曾有の不景気に見舞われた日本。これからの日本はどうなっていくのだろう。

何を指針にして生活をしていけば良いのだろう。

この不景気に乗じて、また悪辣な教義の宗教団体が出てくる可能性が高い。

しかし盲信しては駄目だと思う。

どう行動して良いか、じっくりと自分の頭で考えよう。

H・N

ワークス共同作業所

ご 案 内

個性あふれる仲間が集うしょうがいのある者が働く場です。

社会の一員として責任を持って、日々、主にパソコンを使って働いております。

●ホームページ

ネットショップ、個人商店、医院、保育園、ヘルパー事業所、鍼灸院等
企業や組織、団体のほか、個人のホームページも作製、必要な場合は
その後の管理（ページの追加、ページの入れ替え等）もいたします。
また既存のホームページの管理やリニューアルにも応じます。

●名 刺

お好みのデザインで公用、社用もしくは個人のお名刺をフルカラーでお作り
します。10枚からお申し込みができ、ご好評を頂いております。

●テープ起こし、アナログデータのデジタル化

シンポジウム、公開討論、講演会、インタビュー、その他
また、アナログの音声、動画、文書、画像をデジタル化、必要ならデジタルアー
カイブスにいたします。

●自主製品の販売

オリジナルTシャツ、オリジナル絵葉書、オリジナルカレンダー、
有機栽培野菜、ビーズ小物、古書等を主に下記で販売しております。

「藤森 手作り市」 月一回 藤森神社

「ほていまつり」 月一回 萬福寺

萬福寺 塔頭聖林院（しょうりんいん） 毎週火曜日

●その他

京都市指定ゴミ袋の販売も各サイズ全て手掛けております。

ワークス共同作業所

電 話 075-682-3201

F A X 075-682-3330

〒601-8036 京都市南区東九条松田町 62



あしあと

3月18日(日) 藤森 手づくり市
4月 8日(日) ほていまつり
4月21日(土) 藤森 手づくり市
4月23日(水) ワークス共同作業所
総会

5月 8日(火) ほていまつり
5月19日(土) 藤森 手づくり市
6月 3日(日) 向島にっこりフェスタ
6月24日(日) 聖林院法要
7月 8日(金) ほていまつり

● ● ● ● ● ● ● ● 夏季休暇のお知らせ ● ● ● ● ● ● ● ●

ワークス共同作業所は、下記の間、夏季休暇とさせていただきます。

よろしくお願い致します。

2012年8月11日(土)～8月16日(木)



ヤギゴロー、日々のつぶやき

新しいコーナーです。

所員の日々のつぶやきを
皆様にお送りします。

今年はなかなか暖かくならな
かったので梅雨入りするの
かと心配していましたが、沖
縄と九州が梅雨に入ったので
少し安心しました。

S・K

編集後記

この号がお手元に届くころには、夏も
真っ盛りではないでしょうか。

震災から一年がたち、あの震災も風化
されはじめていますが、電力問題、防
災についてなど、様々な課題を浮き上
がらせました。

地球にやさしくて、自分にもやさしい
そんな夏を今年はお過ごししたいです。

皆さんはどんな夏をお過ごしでしょうか。
猛暑の折、無理をしないでください。

H・N junior